保管用 第2版 A04215

ご使用前に必ずお読みください。

TAJIMA

充電池3747

LE-ZP3747

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願いいたします。お読みになった後、この取扱説明書は必ず保管してください。

製品に関するお問い合わせは

https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry

TEL 0120-125577 受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3

https://jpn.tajimatool.co.jp

用途

本製品は弊社製品のみに対応しています。
対応製品については、右記QRコードまたは
下記URLから弊社ホームページで確認してください。

https://jpn.tajimatool.co.jp

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。

■表示の説明

⚠ 危険	誤った取扱いをすると「人が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
⚠ 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡または重傷*1を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害*2を負う可能性、および物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

絵表示について	🚫	してはいけないことを示す「禁止」です。
	❗	必ず実行していただくことを示す「強制」です。

⚠危険	禁止	**指定用途以外の目的には使用しない**
	禁止	**分解・改造をしない** 発熱、発火、破裂、液もれ、故障の原因となります。
	禁止	**水に濡らさない** 水、海水、ジュースなどの液体が入ると、発熱、感電、故障の原因となります。
	禁止	**端子をショートさせない** 金属製の工具やアクセサリー等と一緒に持ち運び保管しないでください。 発熱、感電、故障、けがの原因となります。
	禁止	**高温の場所で保管・使用しない** 火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い場所、炎天下の車内など高温になる場所に置かないでください。変形、故障、やけどの原因となります。
	禁止	**火の中に入れない** 火中に投入したり、加熱しないでください。発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。
⚠警告	禁止	**保管、使用中に発熱、変色、変形、異臭などの異常がある場合は使用しない** 発火、破裂、液もれ、けがの原因となります。
	禁止	**お風呂などの湿気が多い場所では使用しない** 発熱、感電、故障の原因となります。
	禁止	**踏みつけたり落下させるなど強い衝撃を与えない** 変形して、液もれ、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	禁止	**可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない** 発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。
	禁止	**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れない** 発熱、発煙、発火の原因となります。
	禁止	**引火、爆発のおそれがある場所では使用しない** 爆発や火災の原因となります。
	禁止	**濡れた手で使用しない** 発熱、感電、故障の原因となります。
	禁止	**本体に金属などを差し込まない** 発熱、感電、故障の原因となります。
	強制	**乳幼児の手の届かない所で使用・保管する** 感電やけがの原因となります。
	強制	**USBプラグは根元まで確実に押し込む** 発熱、感電、故障の原因となります。
	強制	**電池の液が漏れたときはただちに火気から遠ざける** 発火、破裂の原因となります。
	強制	**電池の液が目に入った時は、失明などの障害を負うおそれがあるため、すぐに水で洗い流し医師の治療を受けてください。**
⚠注意	禁止	**落下しやすい場所、磁気やほこりの多い場所に置かない** けが、発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。
	強制	**-5～40℃の範囲内で使用する** この範囲外の温度での使用は、液もれ、発熱、破裂、故障の原因となります。
	強制	**電池の液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。** 皮膚の炎症の原因となります。

使用上のご注意

■電池寿命
充電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので、新しい製品をお買い上げください。

■充電機器
・専用のACアダプター以外を使う場合は、出力が5V1A以上のものをお使いください。

■シガーソケットの使用について
・シガーソケットから充電しないでください。故障の原因となります。
・DC/ACインバーターを使用して充電する場合は、
①自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
②本製品とACアダプターを接続した状態で エンジンを始動しないでください。故障の原因になります。

■充電環境
・充電は適正な周囲温度（5～40℃）の場所で行ってください。
・各製品の使用温度範囲をご確認の上、使用してください。
・結露が確認されましたら、結露が取れるまで電源を入れずに放置してください。

■保管方法
・使用後や使用しないときは全てのプラグを外した状態で保管してください。
・充電後は充電池をACアダプターから取り外してください。
・高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
・充電池の機能を維持するため、長期間使わない場合でも、半年に一度は充電するようにしてください。保管充電時は次の点にご注意ください。
○フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管はしないでください。
○電池残量なし状態（対応製品の電源が入らない程消費している状態）での保管はしないでください。
内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
長期間の保管に適した電池残量は、空の状態から3時間程度の充電状態をおすすめします。

■その他
・購入時の電池状態：お買い上げ時の充電池は十分に充電された状態ではありません。充電してからお使いください。
・充電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたしますが、異常ではありません。

商品仕様

品番		LE-ZP3747
外形寸法		約φ22× 78 mm
内蔵電池		リチウムイオン充電池
容量		4700mAh以上
入力電圧 / 電流		DC5V / 最大1A
出力電圧 / 電流		DC3.6V / 最大7A
充電時間（25℃時）		約6時間*1*2
本体質量		約80g
使用温度	充電	5 ～ 40℃（結露なきこと）
	放電	-5 ～ 40℃（結露なきこと）

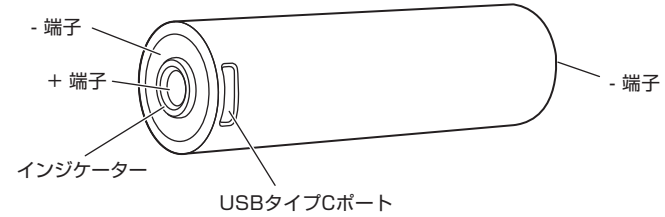
*1:付属または別売のACアダプターPU2(品番：LE-ZPU2)およびUSB Type-CケーブルPU3（品番：LE-ZPU3)使用時
*2:充電時間は充電池残量や温度環境により異なります

Li-ion

充電池の回収について
使用済み充電池はリサイクルのため回収しております。
・電池を使い切り、＋端子および－端子をテープなどで絶縁してください。
・一般家庭ゴミとして廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
ご不明な点がありましたら、当社製品に関するお問い合わせ先にお問い合わせください。

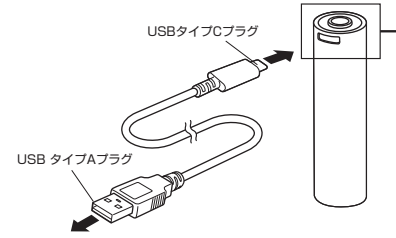
■別売の交換部品/アクセサリー
・ACアダプターPU2 (LE-ZPU2)
・USB Type-Cケーブル PU3 (LE-ZPU3)

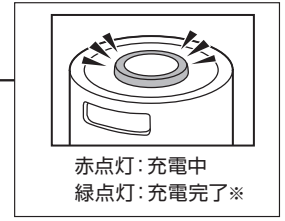
使用方法

■各部の名称


■充電方法
充電池 3747 を充電する

充電ケーブルを図の通り接続してください。
充電中はインジケーターが点灯します。





※充電が完了して緑点灯になった後も充電ケーブルを接続した状態にしておくと、赤点灯に変わり再充電を開始することがありますが、異常ではありません。

⚠注意
・充電池の外観に異常がないこと、充電ケーブルが傷んでいないこと、端子が曲がっていたり汚れていないことを確認してください。
・USBタイプCプラグに表裏はありませんが、水平に差し込んでください。
・テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、それらの製品となるべく離れた場所でお使いください。
・接続部に直接触れたり、指を差し込んだりしないでください。